

チャレンジ精神に満ちた  
パッケージングソリューション・プロバイダー

2021年12月期決算説明会資料



竹本容器株式会社

( 東証 1 部 4248 )

2022年2月17日

# 資料構成

## 1. 2021年12月期トピックス

## 2. 2021年12月期業績概要

## 3. 2030年ビジョンに向けた事業戦略

## 4. 中期計画及び2022年12月期見通し

## 5. 参考資料



# 1. 2021年12月期トピックス

## 通期業績総括 ①

### 【業績】

- 連結売上高は、157億76百万円（前年同期比6.1%増）
- 営業利益は、17億54百万円（前年同期比1.3%減）
- EBITDAは、27億64百万円（前年同期比2.3%減）

### 【特徴】

- サステナビリティについては、お客様のご要望に対応したバイオマス樹脂・リサイクル樹脂・軽量化容器などの環境対応容器売上が11億94百万円（連結売上高の7.6%）と前年同期比57.9%増に拡大
- 原材料価格については、国内・海外とも上昇傾向（期初想定の範囲内）

# 1. 2021年12月期トピックス

## 通期業績総括 ②

### 【日本】

- 売上については、化粧品向けを中心に前年同期比3億54百万円増加、協力メーカー向けの材料売上を除く製商品売上金額では、インバウンド需要の存在した2018年を上回る水準を計上
- 受注については、7-9月の新型コロナウイルス感染症第5波の影響を受けるもスタンダードボトルや環境対応容器に対する需要の拡大もあり4Qでは回復
- 営業利益については、樹脂原材料価格の上昇等の影響はあるものの、生産性の向上に継続して取組み、1,485百万円（前期比+56百万円）と増益を確保

# 1. 2021年12月期トピックス

## 通期業績総括 ③

### 【中国】

- 売上については、2021年5月からの化粧品開発に関する規制強化で中国現地の中堅化粧品会社の商品開発が停滞。一方で、欧米系・日系や現地大規模顧客には影響無く、現地通貨ベースの売上は計画比未達も前期比増  
中国国内でも「環境」への関心は増加、リサイクル材製品の需要が拡大  
円安による為替換算の影響で円ベースの売上は計画比前期比とも増加
- 損益については、樹脂原材料価格の上昇、前年度の社会保険料軽減措置の終了等の要因により335百万円（前期比▲136百万円）と営業利益額が減少
- 9月、10月に起きた電力使用制限措置の影響は軽微に留まる

# 資料構成

1. 2021年12月期トピックス

2. 2021年12月期業績概要

3. 2030年ビジョンに向けた事業戦略

4. 中期計画及び2022年12月期見通し

5. 参考資料



## 2. 2021年12月期 業績概要

### 2021年12月期連結決算ハイライト

	2020年12月期 ¥15.48/RMB ¥106.76/USD	2021年12月期 ¥17.04/RMB ¥109.90/USD	前年同期比		2021年計画比	
			増減	増減率	増減	増減率
売上高	百万円 14,863	百万円 15,776	百万円 +912	+6.1%	百万円 +696	+4.6%
営業利益	1,778	1,754	▲23	▲1.3%	+114	+7.0%
売上高営業利益率	12.0%	11.1%	▲0.8P	—	+0.2P	—
経常利益	1,789	1,837	+48	+2.7%	+192	+11.7%
当期純利益	490	1,193	+703	+143.3%	+63	+5.6%
減価償却費	1,050	1,009				
原材料費	1,778	2,116				
設備投資額	583	567				
(うち 金型)	293	303				
EBITDA	2,828	2,764				
EBITDA比率	19.0%	17.5%				

## 2. 2021年12月期 業績概要

### 地域別グループ企業業績

百万円

日本	2020年12月期	2021年12月期	前年同期比		計画比	
			増減	増減率	増減	増減率
売上高	11,651	12,005	+354	+3.0%	+371	+3.2%
営業利益	1,429	1,485	+56	+3.9%	+128	+9.5%
営業利益率	12.3%	12.4%	+0.1P	-	+0.7P	-

中国	2020年12月期 ¥15.48/RMB	2021年12月期 ¥17.04/RMB	前年同期比		計画比	
			増減	増減率	増減	増減率
売上高	3,149 (203)	3,544 (207)	+395 (+4)	+12.5% +2.2%	+325 (▲6)	+10.1% ▲3.1%
営業利益	472 (30)	335 (19)	▲136 (▲10)	▲29.0% ▲35.5%	▲8 (▲3)	▲2.4% ▲14.1%
営業利益率	15.0%	9.5%	▲5.5P	-	▲1.2P	-

※（）内はRMBベース:百万円

その他地域	2020年12月期 ¥106.76/US\$ ¥121.88/€ ¥1.45/INR ¥3.42/TB	2021年12月期 ¥109.90/US\$ ¥129.91/€ ¥1.50/INR ¥3.44/TB	前年同期比		計画比	
			増減	増減率	増減	増減率
売上高	294	478	+184	+62.5%	+105	+28.4%
営業利益	▲130	▲71	+58	-	+17	-

- ・スタンダードボトルに対する需要が増加、環境対応容器の伸びもあり売上拡大
- ・原材料価格は上昇するも社内生産性向上の取組を継続し原価上昇を抑制
- ・昨年の売上高確保に寄与した衛生関連用品向けは逡減

- ・2021年5月適用の化粧品開発に関する規制の影響はあるものの売上は昨年比増
- ・電力使用制限の規制に関する影響は軽微
- ・円安により円換算額増
- ・利益減少要因
  - 樹脂原材料価格の上昇
  - 昨年の社会保険料軽減措置が終了

#### アメリカ

- ・既存取引先への販売金額増加
- ・輸送コスト増

#### オランダ

- ・既存顧客の取引金額増、取引先数も増加し売上は前年比2.5倍に
- ・多種即納体制を整備中

#### インド

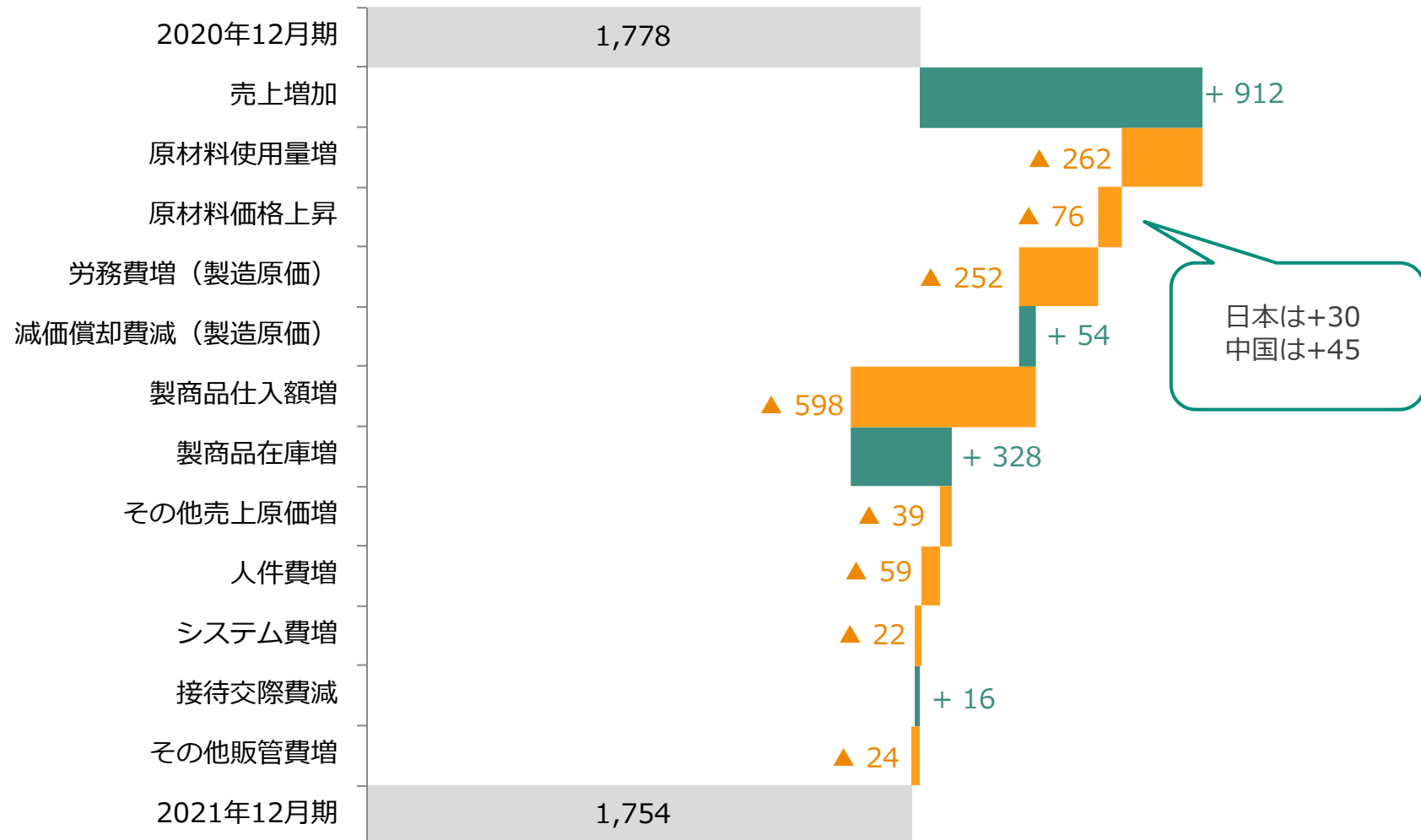
- ・取引顧客数も増加し売上は昨年比倍増
- ・既製品ラインナップ拡充中



## 2. 2021年12月期 業績概要

### 2021年12月期 営業利益の変動分析

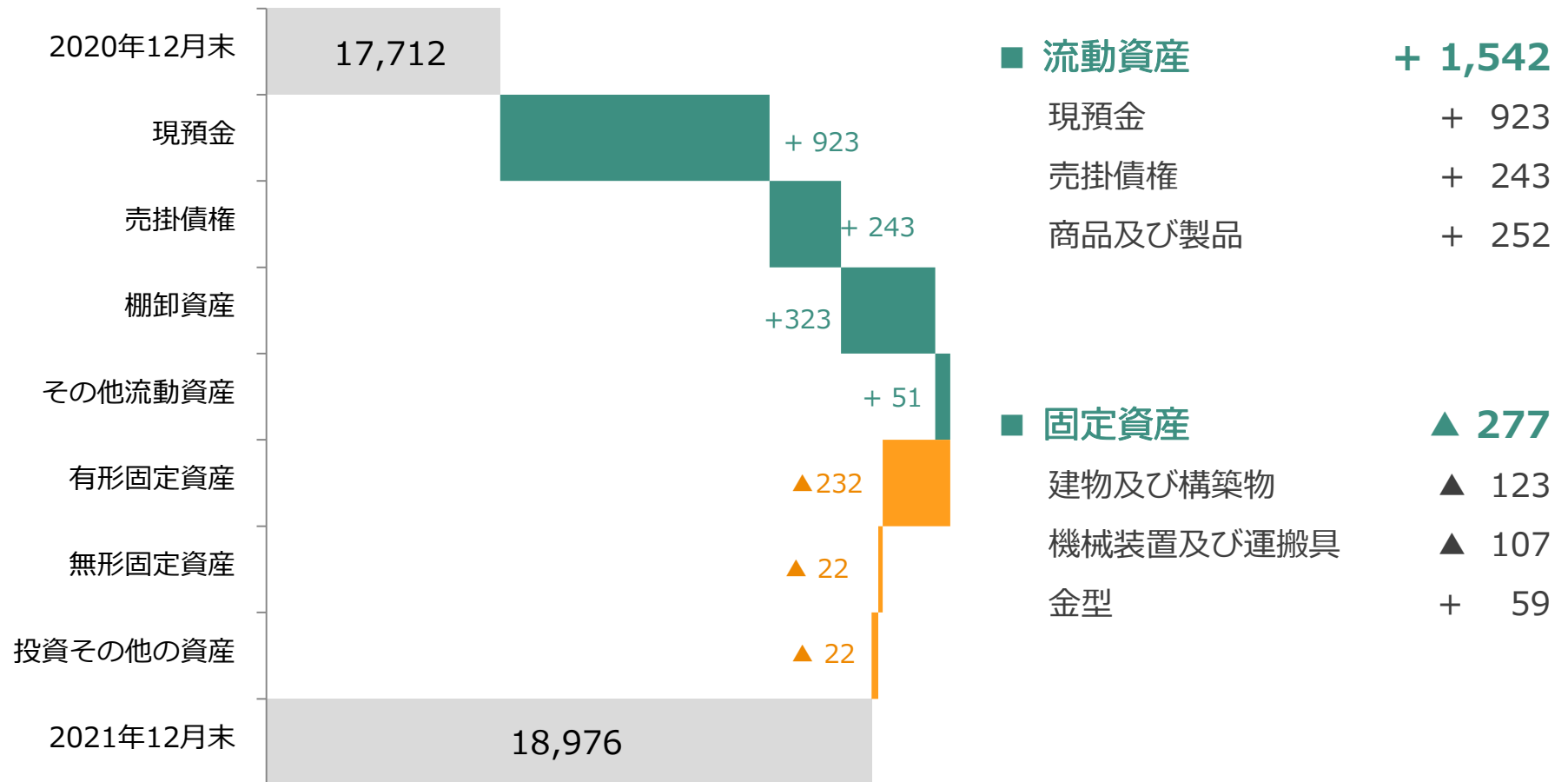
単位：百万円



## 2. 2021年12月期 業績概要

### 2021年12月期 連結貸借対照表 資産の部

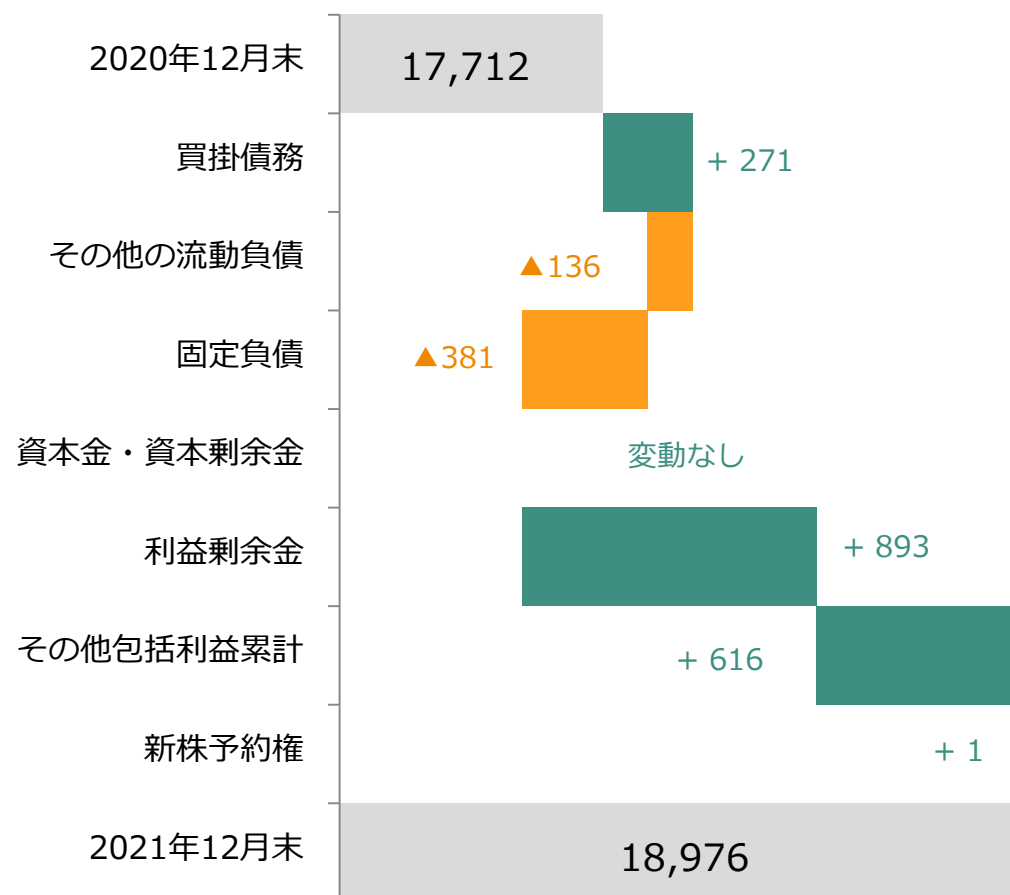
単位：百万円



## 2. 2021年12月期 業績概要

### 2021年12月期 連結貸借対照表 負債・純資産の部

単位：百万円

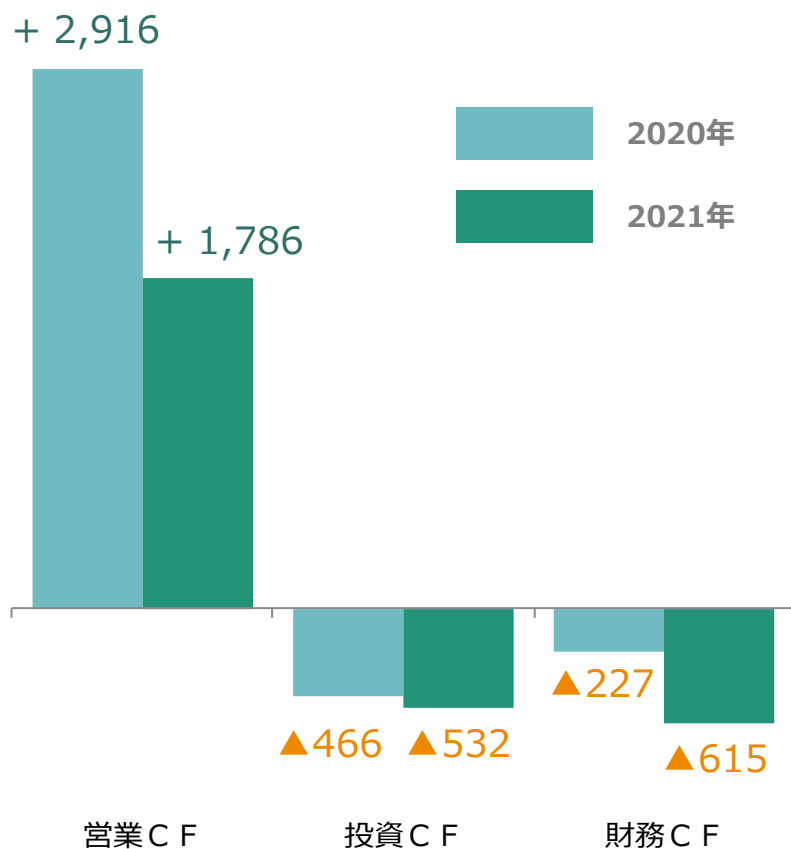


■ 流動負債	<b>+ 135</b>
支払手形及び買掛金	+ 80
電子記録債務	+ 191
未払法人税等	▲ 225
■ 固定負債	<b>▲ 381</b>
長期借入金	▲ 401
■ 純資産	<b>+ 1,511</b>
利益剰余金（当期純利益分）	+ 1,193
（配当金支払）	▲ 300
為替換算調整額	+ 612

## 2. 2021年12月期 業績概要

### 2021年12月期 連結キャッシュ・フローの増減

百万円



■ 営業活動によるキャッシュ・フロー	<b>+ 1,786</b>
税金等調整前当期純利益	+ 1,826
減価償却費	+ 1,009
法人税等の支払額	▲ 856
■ 投資活動によるキャッシュ・フロー	<b>▲ 532</b>
固定資産の取得による支出	▲ 532
■ 財務活動によるキャッシュ・フロー	<b>▲ 615</b>
長期借入れによる収入	+ 400
長期借入金の返済による支出	▲ 714
配当金の支払額	▲ 300
■ 換算差額	+ 269
■ <u>現金及び現金同等物の増減額</u>	<u>+ 908</u>
■ <u>現金及び現金同等物の期首残高</u>	<u>5,504</u>
■ <u>現金及び現金同等物の期末残高</u>	<u>6,412</u>

# 資料構成

1. 2021年12月期トピックス
2. 2021年12月期業績概要
3. 2030年ビジョンに向けた事業戦略
4. 中期計画及び2022年12月期見通し
5. 参考資料



■ 化粧品



■ 食品





■ 日用品





## ■ サステナビリティ



### 3. 2030年ビジョンの概要

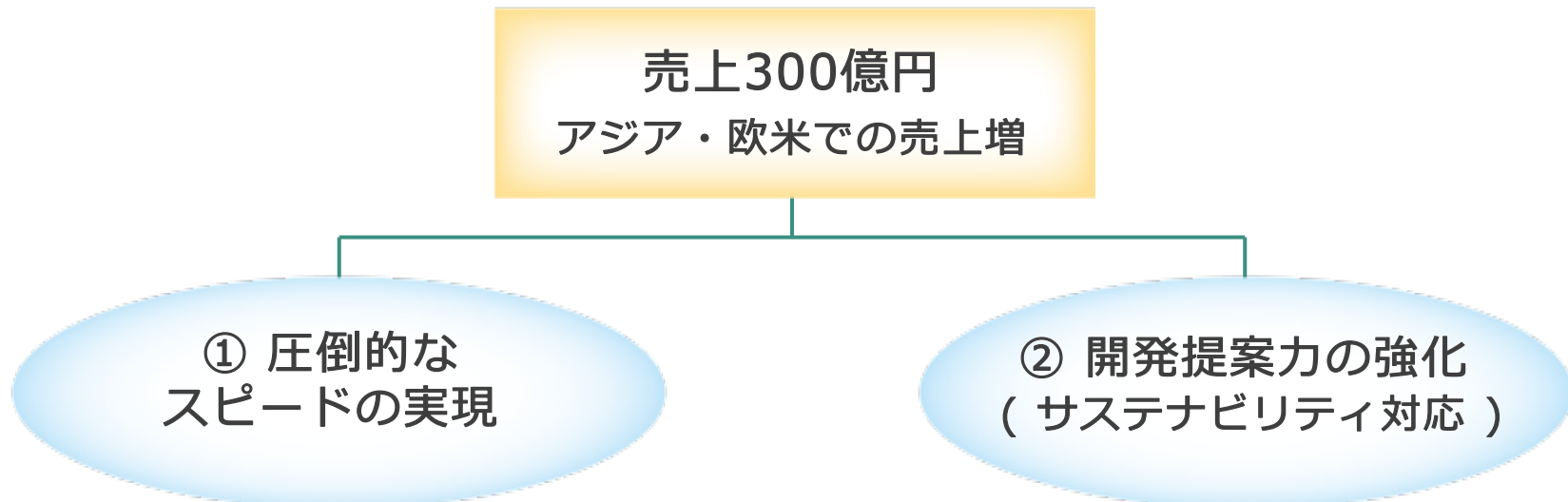
当社の将来ビジョンの全体像

アジア・欧米で販売を伸長させ、数値目標として売上高300億円を目指します

- 達成のために
- ① 圧倒的なスピードの実現でお客様に提供する  
製品の開発から納品までの期間を短縮すること
  - ② 開発提案力の強化によって  
「サステナビリティ」に対応した新製品開発を推進すること

二点を重要課題として位置付けております

更に、デジタル戦略を押し進めることで、2030年ビジョンを実現に導く予定です



### 3. 2030年ビジョンの概要

#### ① 圧倒的なスピードの実現

#### ① 圧倒的なスピードの実現

##### 金型開発強化

###### 【金型数の増加】

スタンダードボトルの増加は、お客様の  
新製品開発期間短縮  
と投資費用削減に  
寄与

2030年までに金型  
数を5,740型とする  
KPIを設定

##### 短納期への 更なる取り組み

###### 【一貫生産体制の 連携強化】

当社グループ内に開  
発・生産・カスタム  
化等を擁する強みを  
活かし、短納期を加速。工場投資による  
供給能力向上

###### 【即納体制の充実】

2030年までに即納  
可能な製品在庫を増  
加。5,500製品とする  
KPIを設定

##### TOGETHER LABの 活用推進

###### 【迅速な開発機能】

お客様と共に価値を  
産み出す「共創開発  
拠点」と位置づけ  
お客様のアイデアを即  
座に具現化することで  
迅速な製品開発機能  
を提供

##### WEBマーケティング (Eコマース)の強化

###### 【利便性向上】

WEB上の検索機能や  
選択可能な画像の充  
実により、希望する  
容器への迅速なアク  
セスが可能に  
WEBマーケティングには、迅速  
化以外に、顧客接点の  
拡大効果も

#### デジタル戦略による加速

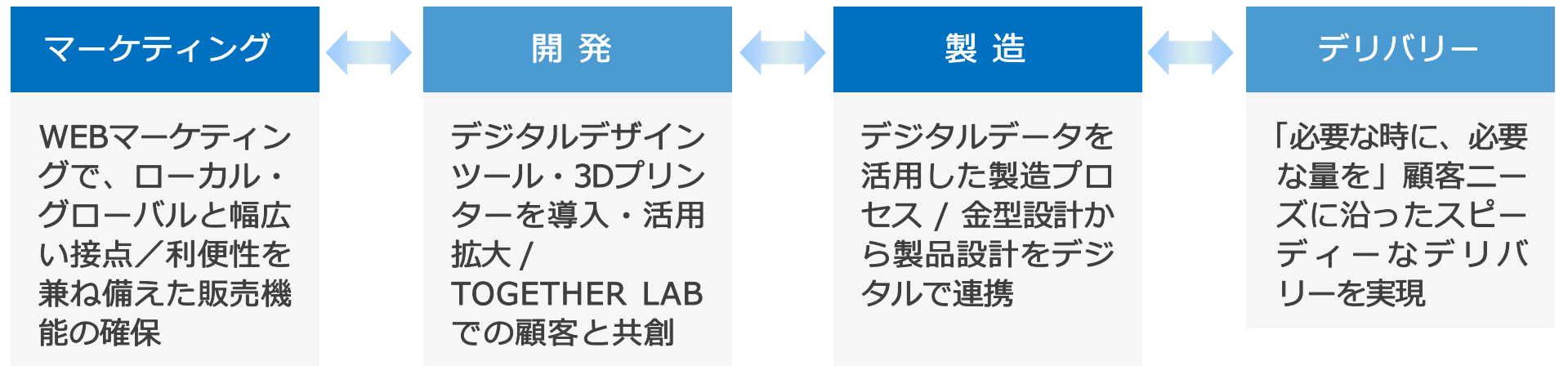
### 3. 2030年ビジョンの概要

デジタル戦略について

#### ■ デジタル戦略の目的

- ◎ お客様に対して： 圧倒的なスピードの実現を含む「**価値ある体験**」の提供
- ◎ 当社にとって： 売上面 → 顧客間口の拡大及び利便性向上による売上拡大  
 コスト面 → 工程改善によるコスト削減  
 「ビジネスの抜本的な見直し」と「企業文化の変革」の位置づけ

#### ■ 具体的なデジタル戦略のイメージ



当社の特徴である一貫体制を「デジタルで繋ぐ」

### 3. 2030年ビジョンの概要

#### ② 開発提案力の強化

#### ② 開発提案力の強化 (サステナビリティ対応)

##### 開発投資の拡大

###### 【競争力の確保】

新製品は会社の総合力のバロメーターと位置づけており、2022年度は金型投資を4億円に増額予定とするなど、製品開発への投資を拡大

創造性の進化に取り組み、お客様ニーズに対応した新製品開発を実践

##### カーボンニュートラル・サーキュラーエコノミーに配慮した新製品開発

###### 【環境への配慮】

環境に配慮したプラスチック製品に関する取組みに対応し、今後の新製品開発は、カーボンニュートラル・サーキュラーエコノミーに配慮したものとの方針

2030年までに環境対応容器の売上比率が全体の90%となることを想定

##### 3つのマイルストーン

###### 【2025年までの数値目標】

1. バイオマスプラスチック化  
目標：150製品  
(91製品 / 達成率61%)
2. 容器軽量化目標：100製品  
(56製品 / 達成率56%)
3. サーキュラーパッケージング  
開発目標50製品  
(5製品 / 達成率10%)

※ ( ) 内は2021年12月時点

### 3. 2030年ビジョン：サステナビリティの位置づけ

#### ＜ 当社の使命 ＞

#### 生活上必要不可欠な容器

- カタチ（容）あるウツワ（器） – を通じて、  
お客様の商品である内容物の価値を安全に包み、  
さらにその価値と個性化を高め  
「世界の器文化に貢献」すること

地球環境保全に配慮し、持続可能な経済成長の追求と、豊かで楽しい生活の創造を通じて「世界の器文化への貢献」を目指します  
変化する時代ニーズと的確な情報を収集しながら新しい世界基準に合わせたサステナビリティな発展に貢献する容器開発を継続的に進めます



**SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS**

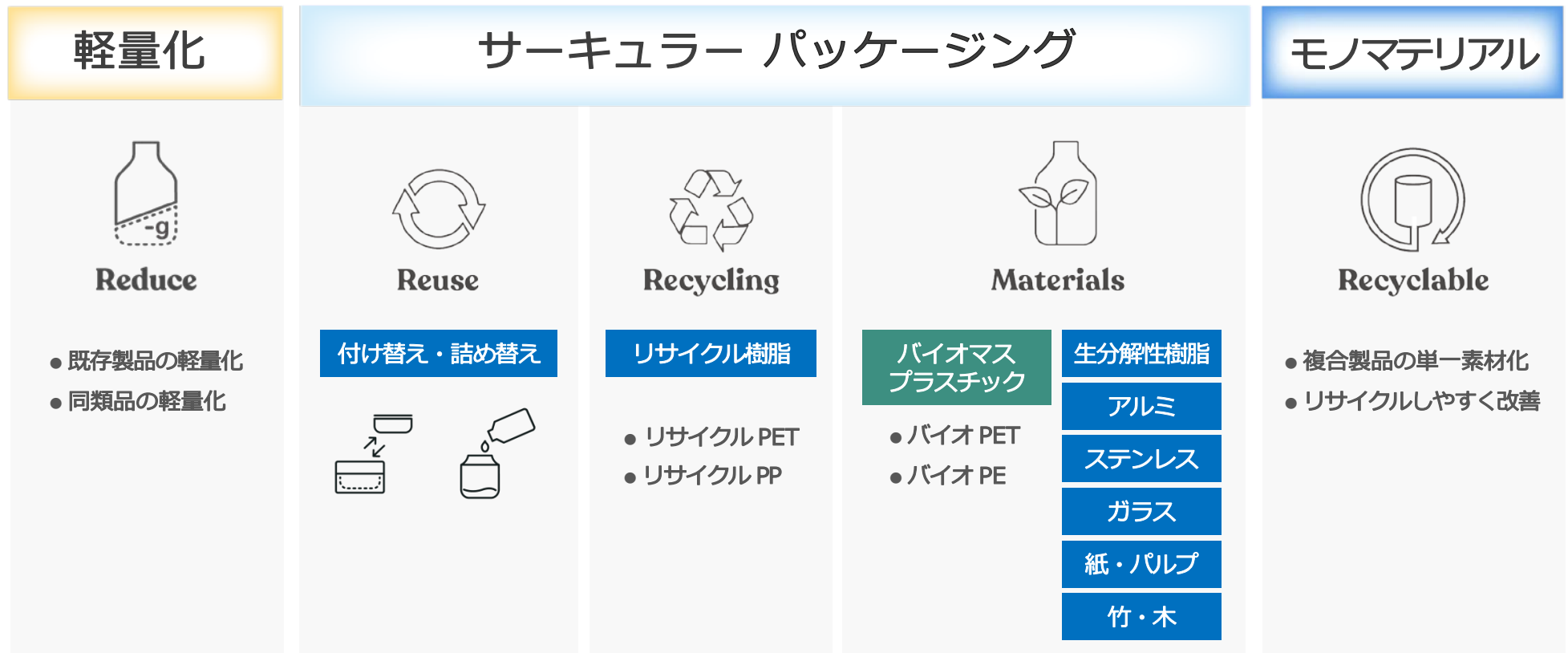
### 3. 2030年ビジョン：サステナビリティの取組み

#### サステナビリティの取組みに関する全体像

2030年には環境に配慮した容器の売上  
比率は90%超に到達すると想定



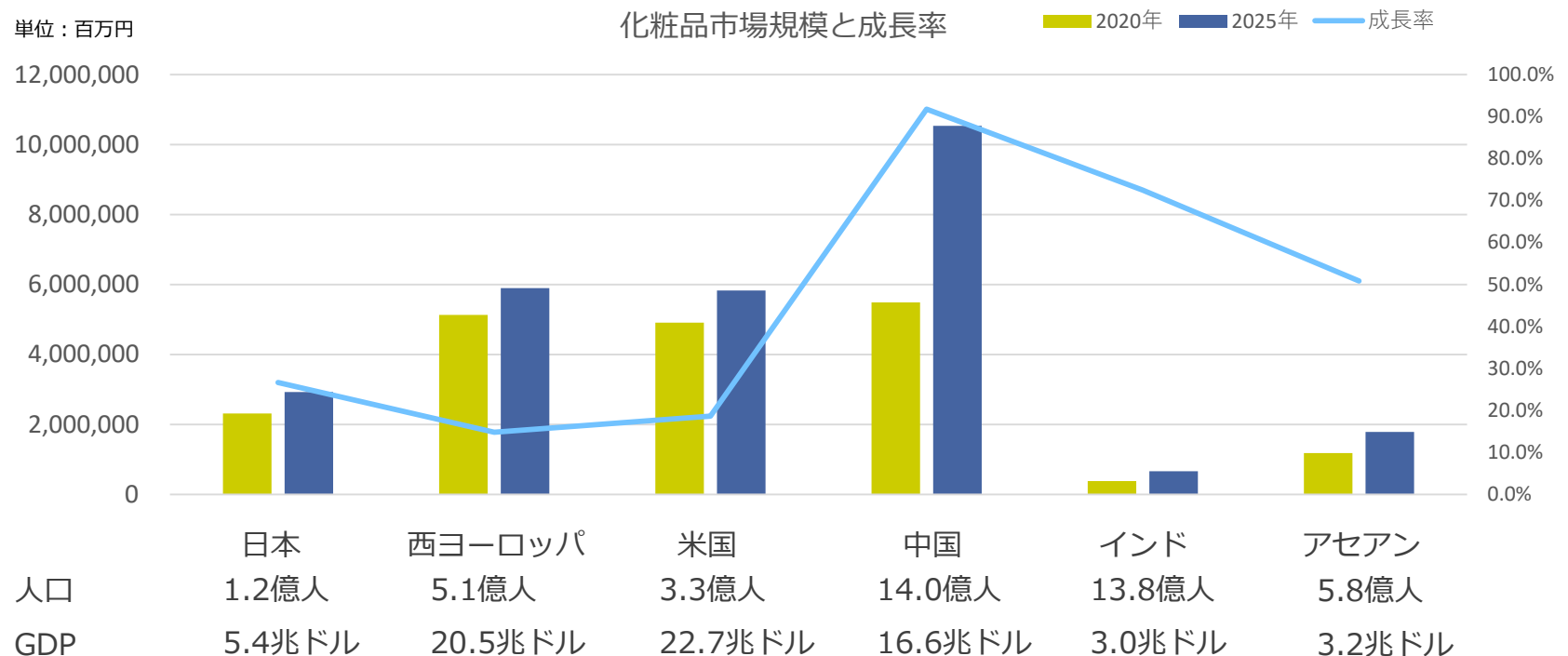
## Circular packaging



- … 軽量化マイルストーン対象
- … サーキュラーパッケージングマイルストーン対象
- … バイオマス化マイルストーン対象

### 3. 2030年ビジョン： 外部環境 - 化粧品市場の規模と成長率

アジアを中心とする新興国では化粧品市場が急激に拡大している  
特に中国は、2025年には他地域を圧倒する大規模な市場規模（10兆円）に拡大する見通し



※ 化粧品市場はスキンケア、サンケア、カラーコスメティクス、フレグランスカテゴリーの合計。各国、地域の現地通貨ベースを2020年平均レートで円換算  
成長率は5年後の伸び率

出所) EUROMONITER INTERNATIONAL2020、総務省、外務省、IMF



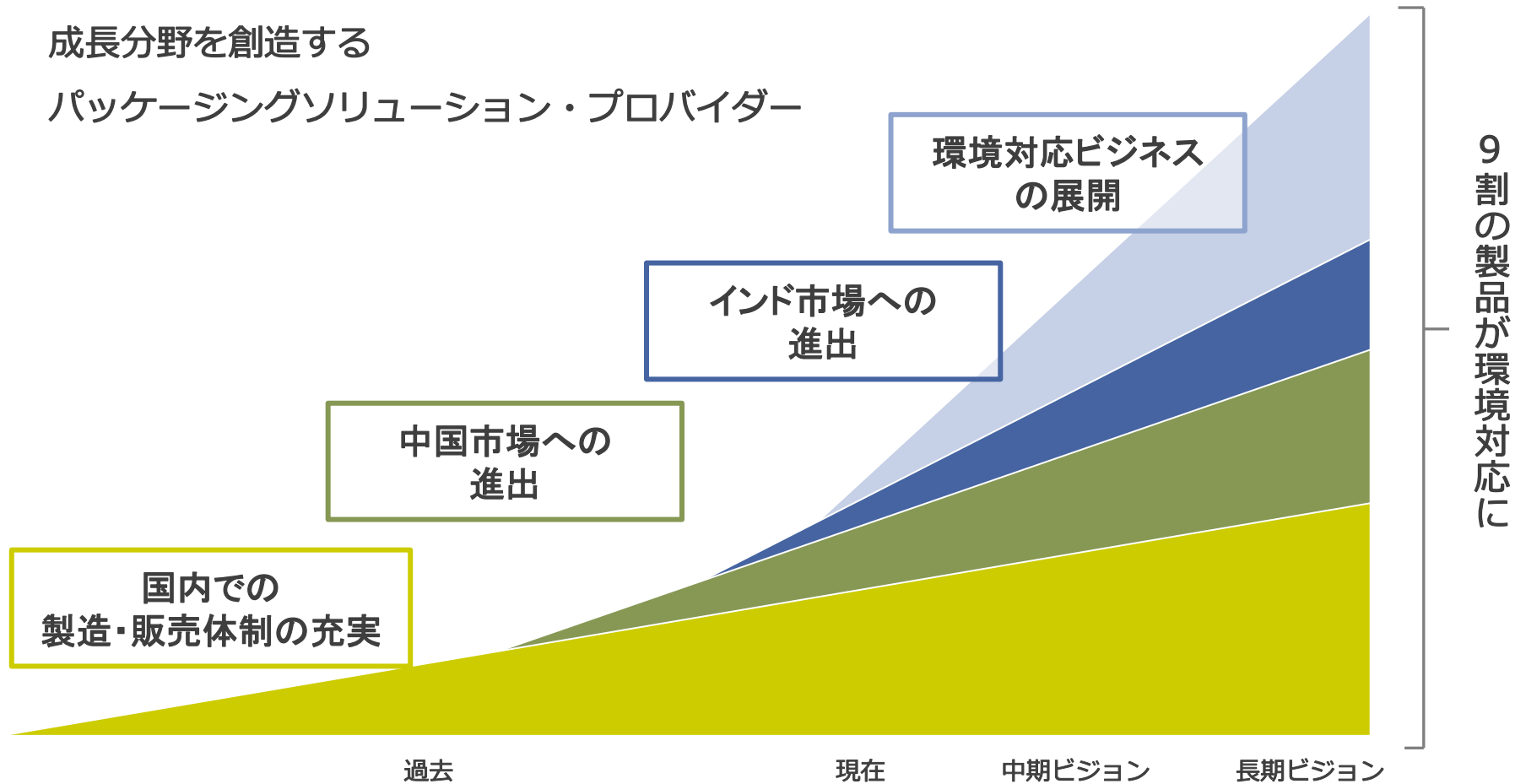
### 3. 2030年ビジョン達成のKPI

圧倒的なスピードを実現するKPIとして「在庫」を、開発提案力強化のKPIとして「金型数」を、これらをデジタルで繋ぐことで「顧客数」を増やし、売上300億円を実現する計画

	2030年 売上目標	2021年時点のKPI			2024年時点のKPI			2030年時点のKPI		
		金型数	顧客数	在庫	金型数	顧客数	在庫	金型数	顧客数	在庫
日本	200億円	2,396型	3,795社	1,802製品	2,659型	4,080社	2,090製品	3,100型	4,500社	2,850製品
中国	70億円	1,190型	458社	77製品	1,440型	750社	200製品	2,040型	1,524社	500製品
インド	13億円	138型	102社	－	300型	260社	200製品	600型	700社	550製品
欧米他	17億円	－	46社	－	－	240社	650製品	－	780社	1,600製品
全体	300億円	3,724型	4,401社	1,879製品	4,399型	5,330社	3,140製品	5,740型	7,504社	5,500製品

### 3. 2030年ビジョンのイメージ

独自のビジネスモデルで  
 成長市場に進出し  
 成長分野を創造する  
 パッケージングソリューション・プロバイダー



# 資料構成

1. 2021年12月期トピックス
2. 2021年12月期業績概要
3. 2030年ビジョンに向けた事業戦略
4. 中期計画及び2022年12月期見通し
5. 参考資料



## 4. 中期計画（2022-24） 前年の中期計画（2021-23）との比較

### ■ 2021年1月29日公表値

2021年～2023年中期計画

	2020(実績)	2021(計)	2022(計)	2023(計)
	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	14,863	15,080	15,770	16,540
営業利益	1,778	1,640	1,740	1,890
EBITDA	2,828	2,670	2,896	3,124
設備投資額	583	1,846	1,088	1,526

2021年1月時点での想定：  
（withコロナ）

- ① 化粧品向け容器需要は2020年並みで推移
- ② 各分野の環境対応容器への需要は増加
- ③ 2021年結城事業所の生産棟更新を実施
- ④ 中国新工場設置は2023年を想定



### ■ 2022年1月31日公表値

2022年～2024年中期計画

	2021(実績)	2022(計)	2023(計)	2024(計)
	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	15,776	16,500	17,700	18,400
営業利益	1,754	1,770	2,000	2,250
EBITDA	2,764	2,795	3,000	3,300
設備投資額	566	1,700	1,200	700

今回計画策定時の想定：  
（withコロナ）

- ① 化粧品向け容器需要は環境対応容器を軸に拡大、樹脂原材料価格は2021年比上昇を想定
- ② 金型投資の拡大、環境対応容器の新製品開発、即納体制の加速
- ③ DX推進による業務効率改善、スピード向上
- ④ 2022年結城事業所の生産棟更新し生産能力向上へ取り組む

## 4. 中期計画数値とポイント（全社）

### 中期計画（2022～2024）

	2022(計)	2023(計)	2024(計)
	百万円	百万円	百万円
売上高	16,500	17,700	18,400
営業利益	1,770	2,000	2,250
売上高 営業利益率	10.7%	11.3%	12.2%
経常利益	1,790	2,060	2,320
当期純利益	1,230	1,420	1,620
減価償却費	1,025	1,000	1,050
設備投資額	1,700	1,200	700
（うち 金型）	400	480	480
EBITDA	2,795	3,000	3,300
EBITDA比率	16.9%	16.9%	17.9%

#### 前提条件

- プラスチック原材料：2022年は樹脂価格上昇を想定
- 為替レート：17.0円/元、108円/ドルで想定

#### 中期計画数値のポイント

2030年ビジョン達成に向けた取り組みを加速

- ① カーボンニュートラル・サーキュラーエコノミーに配慮した環境対応容器の新製品開発を促進し、スタンダードボトルの金型開発強化と開発投資拡大
- ② 一貫生産体制の連携強化と製品即納体制を充実することで更なる短納期の実現に取り組む
- ③ 「共創開発拠点」である TOGETHER LABの活用を推進し迅速な製品開発機能を提供
- ④ デジタル戦略を推進しマーケティング、開発、製造、納品をデジタルで繋ぐことで利便性を向上するとともに圧倒的なスピードを実現する

## 4. 中期計画数値とポイント（地域別）

### 地域別グループ企業計画

2022年～2024年までの中期計画は2030年ビジョン達成に向けた取り組みの一環

百万円

地域		2021(実績)	2022(計)	2023(計)	2024(計)	
日本	売上高	12,005	12,400	13,200	13,450	2030年ビジョン（日本） 2021年の売上高120億円を2030年までに200億円に <ul style="list-style-type: none"> <li>サステナブル製品開発を主軸として取り組む</li> <li>WEBを活用しコンタクト数増加、LAB活用で迅速な製品開発を提供</li> <li>在庫品即納体制の拡充</li> </ul>
	（増減）	+354	+395	+800	+250	
	営業利益	1,485	1,460	1,500	1,650	
	（利益率）	12.4%	11.8%	11.4%	12.3%	
	EBITDA	2,165	2,370	2,260	2,370	
	EBITDA比率	18.0%	19.1%	17.1%	17.6%	
	中国	売上高	3,544	3,840	4,000	
（増減）		+395	+296	+160	+400	
営業利益		335	360	400	490	
（利益率）		9.5%	9.4%	10.5%	10.6%	
EBITDA		646	640	690	790	
EBITDA比率		18.2%	16.7%	17.3%	18.0%	
その他		売上高	478	570	700	840
	（増減）	+184	+92	+130	+140	
	営業利益	▲ 71	▲ 52	▲ 25	7	
	（利益率）	- %	- %	- %	0.8%	

※ 上記数値は所在地別のグループ会社業績であり、地域別セグメントとは一致しません

## 4. 2022年12月期業績見通し

### 2022年12月期 連結利益計画

	2021年12月期実績	2022年12月期計画	前期比	
	¥17.04/RMB ¥109.90/USD	¥17.00/RMB ¥108.00/USD	百万円	%
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	15,776	16,500	+724	+4.6
粗利額	4,979	4,950	▲29	▲0.6
粗利率	31.6%	30.0%	–	–
営業利益	1,754	1,770	+16	+0.9
売上高営業利益率	11.1%	10.7%	–	–
経常利益	1,837	1,790	▲47	▲2.6
当期純利益	1,193	1,230	+37	+3.1
減価償却費	1,009	1,025		
原材料費	2,116	2,350		
設備投資額	567	1,700		
(うち 金型)	303	400		
EBITDA	2,764	2,795		
EBITDA比率	17.5%	16.9%		

### 単年度計画ポイント

#### 売上高

コロナ禍の影響は2022年も継続を想定  
一方でサステナブル製品の需要が高まる想定  
以下の施策により販売金額増加を目指す

- 環境対応容器の新製品開発を推進し、多様なニーズに対応
- 欧米、インド向けでも短納期での製品提供を可能とする即納体制の構築
- WEBマーケティング強化により幅広い顧客との接触機会の確保

#### 営業利益

粗利額：販売額増加で粗利額が増加するも、設備投資額拡大により償却負担増や原材料価格の2021年比上昇を見込んでおり、粗利額は減少。販管費を抑制することで営業利益は増益を見込む

## 4. 2022年12月期業績見通し

### 製造原価の内訳について

	2020年12月期		2021年12月期		2022年12月期 (計画)	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
売上高	14,863	100.0	15,776	100.0	16,500	100.0
商品及び製品売上高	14,799	99.6	15,632	99.1	16,370	99.2
商品及び製品売上原価	9,880	66.5	10,684	67.7	11,400	69.1
商品及び製品仕入高	3,805	25.6	4,025	25.5	4,300	26.1
製造原価	6,074	40.9	6,659	42.2	7,100	43.0
材料費	1,778	12.0	2,116	13.4	2,350	14.2
労務費	2,316	15.6	2,515	15.9	2,530	15.3
経費	1,988	13.4	2,043	13.0	2,200	13.3
売上総利益	4,912	33.0	4,979	31.6	4,950	30.0

※2022年12月期の材料購入単価は日本国内では2021年水準を上回る想定  
社内生産量増加も想定し材料費全体は増加を見込む

### 為替感応度について

1円円安となった場合の営業利益の影響額

	想定為替レート	営業利益影響額
対人民元	17.0円	+21百万円
対米ドル	108.0円	△13百万円

- 現状では日本国内⇔海外の製商品の取引はごく少量で売上金額への影響は限定的
- 人民元に関しては、中国子会社の円換算の影響度が大きい
- 米ドルに関しては、米子会社の規模が小さいため、日本での原材料調達額への影響が相対的に大きい



## 4. 2022年12月期業績見通し

### 2022年12月期設備投資計画について

お客様の求める商品価値の創造とより高い満足を目指し、Standoutなパッケージングソリューションを提供するための容器開発、生産能力、生産効率の向上、海外市場での品揃え強化などを目的とした設備投資を計画

百万円

	国内	海外	合計
結城事業所生産棟更新	800 47.1%	— —	800 47.1%
機械装置（成形機、多層機、画像検査装置、自動機など）	190 11.2%	120 7.1%	310 18.2%
金型	240 14.1%	160 9.4%	400 23.5%
その他	130 7.6%	60 3.5%	190 11.2%
合 計	1,360 80.0%	340 20.0%	1,700 100.0%

## 4. 財務戦略 ～ 配当政策 (2021年12月17日開示済)

現在、中期経営計画期間で想定されている設備投資に必要な内部留保が確保されていること、東京証券取引所の新市場区分の上場維持基準適合に向けた計画の一環として株主還元策の充実を掲げたこと等の理由により、従来の配当方針を変更し、2024年までの中期経営計画期間中について純資産配当率(DOE) 4.0%を目途とすることにいたしました

これにより2021年12月期の年間配当金予想を1株当たり32円00銭(2020年12月期19円00銭から13円増)に変更しています

	2021年12月期	2022年12月期計画
中間配当金	14.50円	17.50円(予定)
期末配当金	17.50円(予定)	18.00円(予定)
年間配当金	32.00円	35.50円
純資産配当率 (DOE)	3.9%	4.0%
配当性向	33.6%	36.2%

# 資料構成

1. 2021年12月期トピックス
2. 2021年12月期業績概要
3. 2030年ビジョンに向けた事業戦略について
4. 中期計画及び2022年12月期見通し
5. 参考資料



## 5. 参考資料

### 地域別グループ企業業績

(百万円)

地域		2019年 第1四半期	2019年 第2四半期	2019年 第3四半期	2019年 第4四半期	2020年 第1四半期	2020年 第2四半期	2020年 第3四半期	2020年 第4四半期	2021年 第1四半期	2021年 第2四半期	2021年 第3四半期	2021年 第4四半期
日本	売上高	3,120	3,011	2,982	2,627	2,814	3,042	2,885	2,909	2,890	3,086	3,196	2,832
	粗利額	919	1,012	961	835	928	1,076	1,001	910	997	981	1,037	925
	営業利益	329	389	353	205	315	475	423	215	410	327	451	296
中国	売上高	865	849	923	800	604	954	852	736	871	911	875	886
	粗利額	259	242	270	230	177	337	270	208	254	282	204	230
	営業利益	121	92	130	89	56	207	132	76	112	126	35	60
欧米	売上高	47	36	42	37	50	32	50	50	61	105	66	64
	粗利額	12	8	14	6	11	8	9	12	13	21	14	12
	営業利益	▲11	▲15	2	▲6	▲3	▲4	▲1	▲0	0	7	1	▲6
その他 アジア	売上高	13	12	28	14	8	22	21	57	38	48	40	53
	粗利額	▲8	▲16	▲10	▲14	▲8	▲10	▲13	▲7	▲2	3	0	0
	営業利益	▲29	▲37	▲33	▲46	▲30	▲30	▲33	▲25	▲20	▲13	▲19	▲21
連結	売上高	3,981	3,859	3,919	3,435	3,425	3,993	3,747	3,696	3,803	4,079	4,105	3,787
	粗利額	1,182	1,246	1,235	1,062	1,110	1,412	1,264	1,125	1,263	1,288	1,257	1,169
	営業利益	410	428	451	247	340	649	521	267	503	450	472	328

## 5. 参考資料

### 区分別販売実績（販売先の主要事業内容ごと）

2020年の日用・雑貨の衛生関連製品の需要は逡減、オーラルケア製品等で化学・医薬の需要が増加 (百万円)

	2019年 第1四半期	2019年 第2四半期	2019年 第3四半期	2019年 第4四半期	2020年 第1四半期	2020年 第2四半期	2020年 第3四半期	2020年 第4四半期	2021年 第1四半期	2021年 第2四半期	2021年 第3四半期	2021年 第4四半期
化粧・美容	2,415	2,221	2,279	1,886	1,955	2,154	2,006	2,031	2,054	2,399	2,380	2,069
日用・雑貨	189	167	175	172	209	263	250	295	249	232	229	219
食品・健康食品	351	339	341	353	280	351	365	349	352	356	389	372
化学・医薬	187	194	221	209	187	240	235	243	243	244	340	267
卸、その他	837	936	901	814	791	983	890	776	903	845	765	859
合計	3,981	3,859	3,919	3,435	3,425	3,993	3,747	3,696	3,803	4,079	4,105	3,787

### 区分別販売実績（製商品の内訳ごと）

(百万円)

	2019年 第1四半期	2019年 第2四半期	2019年 第3四半期	2019年 第4四半期	2020年 第1四半期	2020年 第2四半期	2020年 第3四半期	2020年 第4四半期	2021年 第1四半期	2021年 第2四半期	2021年 第3四半期	2021年 第4四半期
スタンダード ボトル	2,933	2,867	2,933	2,550	2,611	3,014	2,763	2,725	2,791	2,980	2,993	2,920
ビスポーク	344	398	365	334	288	373	371	357	352	366	417	280
他社製品	629	523	537	484	472	551	567	567	583	679	634	489
材料その他	73	69	82	65	53	54	44	46	75	52	60	98
合計	3,981	3,859	3,919	3,435	3,425	3,993	3,747	3,696	3,803	4,079	4,105	3,787

## 5. 参考資料

### 受注実績

受注の状況については2021年3Qでコロナ第5波の影響を受けるも、小ロット対応、短納期対応と新規案件獲得に向けての活動量を増やす取組みを継続して実施中

(百万円)

	2019年 第1四半期	2019年 第2四半期	2019年 第3四半期	2019年 第4四半期	2020年 第1四半期	2020年 第2四半期	2020年 第3四半期	2020年 第4四半期	2021年 第1四半期	2021年 第2四半期	2021年 第3四半期	2021年 第4四半期
国内	2,845	2,742	2,588	2,766	3,439	3,184	2,916	3,037	3,380	3,474	2,600	2,924
海外	986	795	1,194	989	741	1,058	1,008	921	996	1,006	951	1,264
(うち中国)	950	739	1,133	927	656	1,008	922	803	875	869	872	1,070
連結合計	3,832	3,538	3,782	3,755	4,181	4,243	3,924	3,959	4,376	4,480	3,551	4,189

### 為替レート (PL使用レート)

	2019年 第1四半期	2019年 第2四半期	2019年 第3四半期	2019年 第4四半期	2020年 第1四半期	2020年 第2四半期	2020年 第3四半期	2020年 第4四半期	2021年 第1四半期	2021年 第2四半期	2021年 第3四半期	2021年 第4四半期
円/元	16.33	16.20	15.89	15.78	15.59	15.38	15.37	15.48	16.38	16.67	16.79	17.04
円/米ドル	110.22	110.06	109.12	109.03	108.86	108.23	107.55	106.76	106.09	107.82	108.58	109.90
円/ユーロ	125.16	124.32	122.62	122.03	120.08	119.31	120.93	121.88	127.81	129.89	129.87	129.91
円/ルピー	1.57	1.58	1.57	1.56	1.51	1.47	1.46	1.45	1.47	1.48	1.48	1.50
円/バーツ	3.49	3.49	3.49	3.52	3.48	3.43	3.41	3.42	3.50	3.50	3.45	3.44

## 5. 参考資料

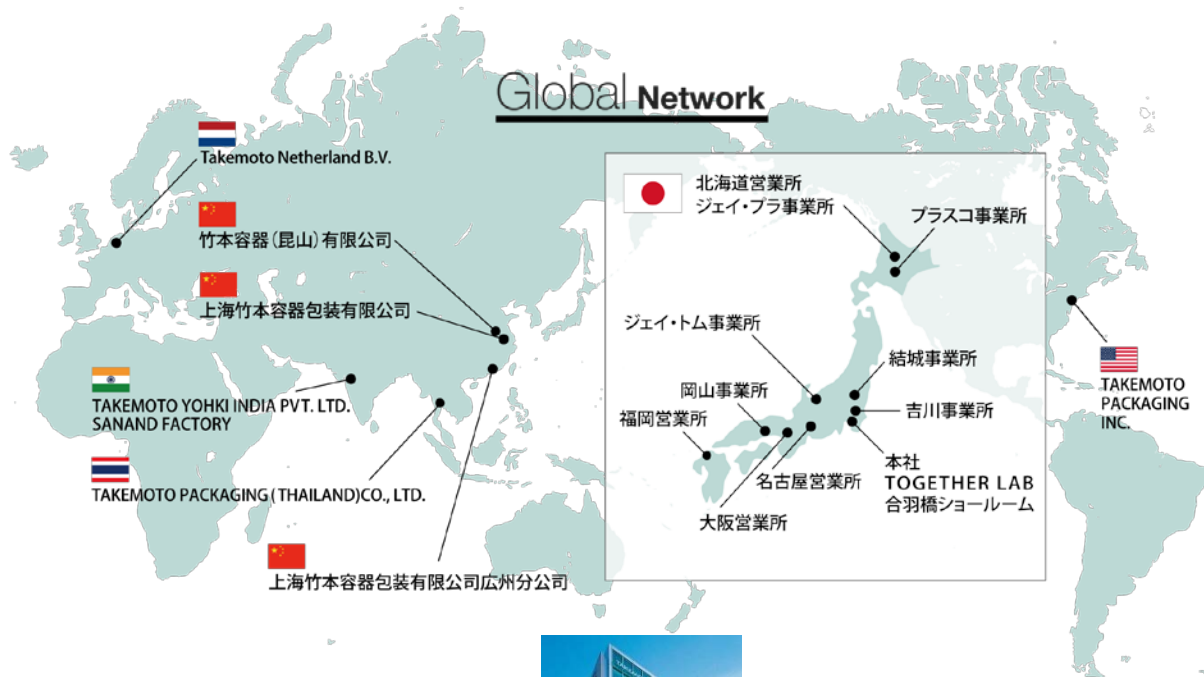
### 金型開発状況 金型の資産状況

3,724型の保有金型のうち約9割は償却済み、収益の源泉であり財務効率に優れる。オランダの金型は日本へ移動

		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	(金型数)
日本	完成金型数	100	152	123	59	97	93	
	廃却・移動	▲16	▲30	▲54	▲80	▲99	▲16	
	保有金型数	2,151	2,273	2,342	2,321	2,319	2,396	
中国	完成金型数	120	106	96	74	84	89	
	廃却・移動	18	▲22	9	7	▲159	▲8	
	保有金型数	914	998	1,103	1,184	1,109	1,190	
オランダ	完成金型数	-	-	-	19	4	-	
	廃却・移動	-	-	-	-	-	▲23	
	保有金型数	-	-	-	19	23	-	
インド	完成金型数	-	-	18	27	48	45	
	廃却・移動	-	-	-	-	-	-	
	保有金型数	-	-	18	45	93	138	
連結	完成金型数合計	220	258	237	179	233	227	
	保有金型数	3,065	3,271	3,463	3,569	3,544	3,724	
連結決算計上額		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	(百万円)
取得金額		4,549	4,706	4,875	4,827	4,654	5,003	
減価償却累計額		▲3,945	▲4,048	▲4,147	▲4,175	▲4,163	▲4,453	
金型(純額)		603	657	727	651	490	550	
純額割合		13.3%	14.0%	14.9%	13.5%	10.3%	11.0%	



竹本容器株式会社  
代表取締役社長  
竹本 笑子



会社名 竹本容器株式会社  
Takemoto Yohki Co., Ltd.

設立年月 1953年5月19日（昭和28年）

代表者 代表取締役社長 竹本 笑子

所在地 東京都台東区松が谷2丁目21番5号

事業内容 プラスチック製等の包装容器の製造及び販売

資本金 8億342万1,725円（2021年12月31日現在）

発行済株式数 12,529,200株（2021年12月31日現在）

単元株主数 7,541名（2021年12月31日現在）

グループ従業員数 890名（2021年12月31日現在）

上場市場 東京証券取引所市場第一部  
（2022年4月からは『プライム』）  
[ 証券コード：4248 ]

ホームページ <https://www.takemotopkg.com>



JQA-FC0115  
結城事業所  
食品用プラスチック  
容器の製造  
(印刷製品は除く)



JMAQA-F 477  
JMAQA-FC 376  
岡山事業所  
食品用プラスチック  
容器の製造



本社



合羽橋ショールーム



大阪営業所・ショールーム



福岡営業所・ショールーム



名古屋営業所・ショールーム



北海道営業所



TOGETHER LAB



本資料に掲載されている将来に関する記述の部分は、資料作成時において当社が各種情報により判断した情報ではありますが、その内容を当社として保証するものではありません。

予想数字等は、今後の経済情勢、市場動向等の変化による不確実性を含有しております。また、本資料は投資勧誘を目的に作成したものではありません。投資を行う際は、ご自身のご判断で行って頂きますようお願い申し上げます。

すべては “ Standout ” な  
パッケージングソリューション  
創造のために